

# 公民館だより なかがわ

第480号

令和4年11月1日

発行 中川地区公民館

TEL. Fax : 679-2501



## 第10回グラウンドゴルフ愛好会大会

優勝 志田 慶治さん  
(高野)  
準優勝 齋藤 嘉子さん  
(薄沢)  
第3位 加藤 喜信さん  
(永野)

10月17日(月)グラウンドゴルフ愛好会大会が開催されました。今年がグラウンドゴルフ愛好会発足10周年。中川地区グラウンドゴルフ愛好会会員、永野地区のメンバー合わせて32名の参加者で8班に分かれ、8ホール2ゲームでスタート!!日頃の練習の成果を大いに発揮し、入賞目指し頑張っていました。ホールインワンもたくさん出て驚きました。来年の大会も白熱した戦いが見れるのを楽しみにしたいと思います♪皆さん頑張ってください!!



## 「みはらしの丘」に行ってきました!!



10月5日(水)、12(水)の両日、グラウンドゴルフ会員24名で、みはらしの丘でプレーしてきました。普段、公民館広場でやっていますが、芝生でのグラウンドゴルフは初めての方が多く、ボールの転がり方のコツを掴むまで難しかったようです。しかし皆さんあっという間にコツを掴み、楽しくプレーが出来たと思います。『また、来たい!!』の声がとても多かったので、また行きたいと思います。

## 単発講座「第2弾マクラメ編み」

9月30日(金)単発講座「第2弾マクラメ編み」の2回目が開催されました。1回目の続きとなる大物作り、また2作品目大作挑戦となる方もいて、再びもくもくと編んでいく作業が続きました。少しずつですが、形になってきて、出来上がりがとても楽しみです♪3回目へと続きます!



## 女性学級きらい

10月14日(金)第7回女性学級きらいは、蘭花園の佐藤淳志さんを講師にお迎えし、「秋の寄せ植え教室」を会員12名で開催いたしました。アズレア、ガーデンシクラメン、フォックスツリータイム、カラミンサ、チェッカーベリー、ポットクリサンセムなど、冬を越せるお花をたくさん選んでいただきました。お花の育て方も詳しく教えてもらい、秋晴れでポカポカ心地良い中、楽しい時間となりました♪



# 中川地区地域推進会議



10月14日(金)中川地区地域推進会議が28名の参加で開催されました。各種団体の事業報告、各地区の要望等が述べられた後、上山市役所建設課横戸課長、土木係の武田係長より、各地区に対して適切な回答を頂き、すぐに回答できない件に関しても「詳しい話を後ほど聞いて対応していきたい」との言葉をいただきました。少子高齢化問題、インフラ整備など、これからも全体で問題等を共有しながら、各地区でできる事はもちろんですが、市や議員の方々、県への協力もお願いして、早めに対策を講じることが必要となります。

## 体験スポーツ教室「シニアヨガ体験会」

10月18日(火)「シニアヨガ体験会」が、YOGA ME!山形より講師3名をお迎えし10名の参加で行われました。講師の一人で、看護師でもある井上裕子さんより、イスに座ったままで、太陽の礼拝ポーズや戦士のポーズなどを教えていただき、体に無理のないヨガを体験しました。呼吸に合わせて動くことの大切さを教わり、参加した方々より「ゆっくり無理なくてできて良かった」との声も聞かれ、身体も心も心地よい時間となりました。



## ウォーキング教室

### 6回「中山地区クアの道 史跡コース」

9月27日(火)、第6回ウォーキング教室は「中山地区クアの道 史跡コース」で8名の参加で行われました。講師に中山地区公民館の元館長の吉田繁幸さん、市川事務長と共に史跡の話聞き、今も残っている城の遺構・石垣には会員さんも驚かれています。コースもとても歩きやすく、植物の説明がQRコードで見ることができ、花の咲く頃に再度来てみたいと思いました。



### 7回「蔵王高原坊平コース」



10月21日(金)第7回ウォーキング教室は「蔵王高原坊平コース」で10名の参加で行われました。中川地区を指導して下さっている石井昇さんを講師に迎え、いざ出発!山道をゆっくりと歩き、いろんな所で話を聞きながら時間を忘れるほど、楽しく歩くことが出来ました。絶好の秋晴れの空のもと、景色(紅葉)や会員の皆さんの最高の笑顔で今年度、最後のウォーキング教室を締めくくることが出来ました。来年もまた皆さんの参加をお待ちしております。

## 単発講座「スマホ教室」

10月24日(月)「スマホ教室」が、11名の参加で開催されました。講師は中部地区公民館の地域づくり推進員の佐々木 寿さんです。初心者の方向けの講座で、あらかじめパソコン教室にてスマホに関するアンケートをとり、それに沿って解説していただきました。最後に質問時間もとって頂き、参加した方はわからないところを熱心に聞いていました。



## 粋いき倶楽部

10月25日(火)第6回粋いき倶楽部は、秋の一日研修「クアハウス基点と最上川舟下り」で村山市へと行ってきました。クアハウス基点さんに着いて、まず入浴で日頃の疲れを癒し、おいしい昼食をいただきました。午後からは「最上川三難所舟下り」を体験してきました。天気も良く、船頭さんの楽しいお話を聞きながら、自然豊かな情景を楽しみました。最上川の舟運の歴史を聞いていると、行きかう舟で賑わう当時の様子が思い浮かび、貴重な体験となりました。



## 「市長と語る車座ミーティング」 開催！

10月21日(金) 19時より、市長と担当課長、職員が臨席し、公民館集会室において、見出しの会が開催されました。市長による令和4年度の市政運営について説明があり、その後質疑応答、意見交換が行なわれ、マイナンバーカードから、ごみの分別まで多岐に渡り活発に質問等が出ました。より良い生活の実現を期待したいものです。



**お知らせ**

詳しくは、10月に配布のチラシをご覧ください！

## 中川福祉村 文化産業まつり 開催します！！

11月5日(土) 13時 開会式  
13時~16時半 展示、即売会、バザー等  
14時~16時 大抽選会(抽選券持参)

11月6日(日)  
8時半~12時 展示、即売会、バザー等  
9時半~11時半 大抽選会(抽選券持参)  
場 所：中川農業者等トレーニングセンター  
主 催：中川福祉村

◎地区民、福祉村施設、各学校の作品も展示します。

**募集中!**

詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！

## 中川地区食生活改善推進協議会 「伝達講習会」

日 時 12月5日(月) 9時半より  
場 所 中川地区公民館 調理室  
参加資格 中川地区民 10名程度(定員になり次第終了)  
内 容 山形野菜を使った家庭料理を食改会員さんと一緒に作ります。

参加料 無料  
申込期限 11月11日(金)

### 単発講座

## 「初心者パッチワーク体験教室」

日 時 12月9日(金) 13時半より  
場 所 中川地区公民館 図書室もしくは集会室  
参加資格 中川地区民 8名程度  
(定員になり次第終了)  
内 容 パッチワークでコースターを作成します。  
参加料 500円



### 行事予定



11/1(火) 市報・館報  
11/2(水) 三者会、中川地区会長会  
公民館運営協議会  
11/4(金) 第8回女性学級きらり  
11/5(土)~6(日) 福祉村文化産業まつり  
11/7(月) 第2回自衛消防訓練  
11/14(月) 第3回子ども会育成会  
11/18(金) 第8回そば打ち教室  
11/22(火) 第7回粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)  
11/25(金) 第8回パソコンクラブ  
防犯協会中川支部研修会

詩吟教室(火曜日) 11/1、8、15  
ピンポン愛好会(木曜日) 11/10、17、24  
スポーツ麻雀愛好会 11/12、19(土曜日)  
11/24(木曜日)  
グラウンドゴルフ愛好会(月曜日)  
11/7、14、21、28



### 行事予定



12/1(木) 市報・館報  
三者会、中川地区会長会  
公民館運営協議会  
12/2(金) 第9回そば打ち教室  
12/5(月) 中川地区食改「伝達講習会」  
12/6(火) ボランティアによる大掃除  
12/8(木) 中川地区表彰委員会  
中川地区会長会忘年会  
12/9(金) 単発講座「初心者パッチワーク教室」  
12/11(日) わら打ち(しめ飾り)  
12/16(金) 第9回パソコンクラブ  
12/18(日) しめ飾り作り  
12/23(金) 第9回女性学級きらり  
12/27(火) わんぱく広場「そば打ち教室」  
12/28(水) 仕事納め

詩吟教室(火曜日) 12/6、13、20  
ピンポン愛好会(木曜日) 12/1、8、15、22  
スポーツ麻雀愛好会 12/3、10(土曜日)  
12/22(木曜日)

## 公民館大掃除を行います！

お手伝いしていただける

## ボランティア募集中

日 時：12月6日(火)  
10時00分より



# おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第百六十九弾〉

## 「昭和考、問わず語り（その21）」

甲石地区 高橋 正之

〈娯楽は、都会と山漁村に格差があった〉  
昭和改元期は、都会と山漁村に文化の格差がみられた。

山漁村では、統邦楽や伝統芸能・伝統邦楽、寺社の祭り、盆踊りなどの伝統行事が娯楽の中心だったが、都市部では、落語、講談、浪曲などが常設の興行場があって楽しまれていた。識字率がほぼ100%に達していたので、新聞や雑誌の連載小説を楽しむ人も多く、読書はもともと普及していた娯楽であった。ただ新刊の雑誌は高額だったので、回し読みしたり、古本屋から借りたり、古雑誌を買って読むことも多かった。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書）

〈ラジオ、音楽〉  
ラジオ放送、レコードは高価だったので、少数の娯楽だった。

ラジオは、一九二五年（大正十四年）に放送が始まったが、日本では民放放送が認められず、公共放送（NHK）という形になった。準国営ということもあり、放送内容は西洋クラシック音楽や識者の講話など硬い内容が中心で、相撲や学生野球の中継を除けば、庶民にはあまり面白いものではなかった。受診料の支払いが必要で、受信機も高価なため、聴取契約率はまだ数%にすぎなかった。  
レコードは伝統邦楽を中心に多くの種類が販売されていたが、レコード盤の収録時間が十分程度と短く一枚三千円、再生機（蓄音機と呼ばれた）も、手回し式の簡単なものでさえ今の感覚で数万円以上だったから、中流層以上の娯楽だった。しかも録音技術が未熟で音質も悪かった。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書。写真①は、レコードを聴く市民の様子。「昭和2万日の全記録」講談社より）

〈存在感のあった劇映画〉  
当時大衆娯楽として最も存在感があったのは映画、正確には劇映画で、当時は活動写真と呼ばれていた。

映画は、十九世紀末にヨーロッパで発明され、ほぼ同時期に日本にもたらされ、明治末から人気が出るようになった。当時日本国内の映画館数は千を超え、映画館での観客数は年間延べ千六百万人に達していた。ただし、映画館は都市部にしかなく、観客のほとんどが十代から二十代にいたる青少年層だった。

劇映画は、映画会社が製作し映画館で上映された。映画会社や映画館の宣伝が新聞や雑誌で盛んに行われ、映画の社会的存在感は絶大で、青少年層にもっとも人気がある娯楽は映画であった。

当時劇映画で最も人気があったのは時代劇で、次いでアメリカから輸入された喜劇映画や恋愛映画だった。時代劇のスターは、尾上松之助、嵐寛寿郎などがあり、アメリカ映画では、チャップリンやキートンなどが人気だった。日本では、年間五百本以上の映画が製作され、外国映画も年間百本以上輸入されていた。それぞれの映画館での上映期間は一週間、好評ならば延長した。

まず大都市の中心部の映画館で封切りし、封切り興行が終わると中小都市や大都市の下町の映画館にフィルムが回された。

画面はまだすべて白黒、音もついておらず、ところどころ字幕でセリフや状況説明が入ったが、外国映画の場合はいくまでもなく字幕が外国語だった。そのため、上映の際は、生演奏かレコードで伴奏音楽を加え、活動弁士と呼ばれた解説者が字幕を手掛かりに巧みな話術で解説をつけて場を盛り上げた。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書より）

昭和三十年代に入ってテレビも普及したが、映画がまだ存在感があった。中学校の映画鑑賞授業もあり、トキワ館に度々映画鑑賞に出かけた。山形の旭銀座通りには映画館が五軒ほどあり、土日はどこも満員であった。

〈総合雑誌の増刊、「キング」がバカ売れ〉  
出版では、総合雑誌が増えつつあった。「中央公論」「改造」が代表格で、「文藝春秋」について、昭和に入ると「経済評論」を改題した「日本評論」もあらわれる。  
大衆向け月刊雑誌として講談社から大正十三年十一月に発売された「キング」は、昭和二年に入り爆発的に売れた。

この雑誌は、連載小説、著名な政治家や財界人による成談など、実質的には中流向けの内容だったが、「国民の誰もが楽しく読め、かつためになるもの」「一家に一冊」をうたい文句に大々的に宣伝を繰り返して、五〇万部を一週間で完売し、更に増刷を重ね七十四万部に達した。この時期一番売れていた雑誌が「主婦之友」で二十万部、新聞の最多発行部数「大阪朝日新聞」の五十万部を超え、天文学的数字とまで言われた。また改造社の「日本文学全集」の成功がきっかけとなって、一冊一円の「日本文学全集」の全種類も中流層を購買層として次々と出版された。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書より。写真②は、「昭和の2万日の全記録」講談社より。）  
（次回は、日本の経済力、国際関係などについて記述する予定です。）



(写真①)



(写真②)